

北原小学校授業改善推進プラン全体構想図

関係法規（法的根拠）

- ・ 日本国憲法
- ・ 教育基本法
- ・ 学校教育法
- ・ 学習指導要領
- ・ 東京都教育委員会教育目標
- ・ 練馬区教育委員会教育目標
- ・ 練馬区小中一貫教育推進方策等

人権教育
偏見や差別の不合理性に気付かせるとともに、様々な人権課題について理解させ、自他を尊重する心情や態度の育成を図る。

道徳教育
人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中で育てるとともに、人間性豊かな心を持ち、未来を拓くことのできる主体性のある児童を育成する。

特別活動
協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

総合的な学習の時間
課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究的な学習のよさを理解するようにする。
自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
学習に主体的・協働的に取り組むとともに、社会に参画しようとする態度を養う。

外国語活動
聞くこと・話すことを通してコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。

生活指導
一人一人の児童の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高める。
学校生活が全ての児童にとって有意義で、充実したものになるようにする。

進路指導
学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付ける。

北原小学校の教育目標

- ・ よく考える子ども
- ・ 明るくたくましい子ども
- ・ 思いやりのある子ども

学校経営方針
児童の健全な成長を保証し、保護者・地域から信頼される学校となるように、楽しい学校、安心できる学校、きれいな学校を目指していく。

授業で定着を目指す「確かな学力」とは
基礎・基本の力を確実に身に付け、自ら学び、考え、活用し、問題解決できる資質や能力とする。
※基礎・基本の力とは 学習指導要領に示された内容を基本とし、それによって養われる次の8つの力と捉える。

- ①思考力
- ②判断力
- ③表現力
- ④知識・技能
- ⑤学びに向かう力
- ⑥言語能力
- ⑦情報活用能力
- ⑧問題発見・解決能力

指導方針
「確かな学力」を身に付けさせるための授業改善および、教育活動の実施

○授業における取組

- ・ 指導法、導入・教材・課題の工夫
- ・ 教師の授業のねらい、児童のめあての明確化
- ・ 課題解決学習、体験活動を取り入れた指導
- ・ 既習学習を想起・活用し、自ら深く考え学ぶことの働きかけ
- ・ 交流により考えを広げ、日常・社会生活へつなげる学習の場の設定
- ・ 振り返りによる分かったことの明確化
- ・ 評価規準の設定とその明確化、指導と評価の一体化
- ・ 年間指導計画、週ごとの指導計画に基づいた計画的な指導
- ・ 学力調査等の結果を踏まえた授業の改善
- ・ 各教科・領域における言語活動の充実
- ・ ICT機器を生かした分かりやすい授業の工夫

○教育活動における取組

- ・ 朝学習、朝読書の取組（習熟を高める学習、基礎的・基本的な事項についての反復学習の充実、読書習慣の形成）
- ・ 体力向上を図るための取組（体育朝会の計画的な実施）
- ・ 個に応じた指導の充実（授業や朝学習を活用した補充・発展学習）
- ・ 特別支援教育の推進、充実（配慮を要する児童への適切な支援）
- ・ 習熟度別少人数指導の実施
- ・ 校内研究等を活用した全職員の授業改善への取組
- ・ 家庭との連携による学習習慣の確立
- ・ コーディネーターとの連携による地域の人材活用
- ・ 学校評価を活用した教育課程の編成
- ・ 児童の人権を尊重した指導の充実
- ・ 集会や出前授業等による中学校との連携

期待される児童像

○時代・社会的要請

- ・ グローバル化、人工知能の発達などで加速度的に変化する社会への対応。
- ・ いじめや不登校などの不適応問題への対応。
- ・ 「人権教育」の推進。
- ・ 「確かな学力」「生きる力」を育む教育の推進。
- ・ 義務教育9年間を見通し、課題改善カリキュラムの作成、検証授業、出前授業や部活体験等を行うことによる「小中一貫教育」の推進。

○児童の実態

- ・ 自ら考え、判断し、行動することが、十分ではない。
- ・ 思いはあっても、それを分かりやすく言葉で表現することが難しい。
- ・ 他者の考えを受け止め、自分の考えとの違いを理解し、学習に生かすことが十分でない。

○保護者の期待や願い

- ・ 確かな学力の定着と個性の伸長。

○教師の願い

- ・ 自分の思いや考えを持ち、豊かに表現する児童の育成。

各教科

<国語>
「言葉による見方・考え方」を働かせ、日本語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

<社会>
社会的象徴の意味について、思考・判断・表現する力を付けさせる。

<算数>
数学的な見方、考え方を育成する。

<理科>
科学的なものの見方、考え方を育成する。

<生活>
身近な生活に関わる見方、考え方を生かし、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせる。

<音楽>
生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成する。

<図画工作>
生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成する。

<家庭>
生活を工夫しようとする実践的な力を育てる。

<体育>
運動に親しむとともに自己の力に応じた目標を設定し、基本的な動きや技能を身に付けさせる。

<外国語>
聞くこと・話すこと・読むこと・書くことを通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

<道徳>
道徳的価値についての理解を基に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、生き方について考えを深める。